

★市民の声を総合計画へ！ グループインタビューの概要

「表：グループヒアリングの日程」

	日程	人数
第1回	令和元年8月4日(日)	40歳代男女3名
第2回	令和元年8月6日(火)	30歳代～50歳代の男性3名
第3回	令和元年8月10日(土)	20歳代男女4名
第4回	令和元年10月4日(金)	30歳代～60歳代の男性4名
第5回	令和元年11月12日(火)	40歳代の男女4名

次期総合計画の実効性を高めるために、市民の皆さんに御協力いただきグループインタビューを実施しました。

昨年度実施した「綾瀬市まちづくりカフェ」に引き続き、若い世代の方から子育て世代、高齢の方々まで、様々な方に御参加いただき、戦略プロジェクトについての意見や、計画の実現に向けて市民と行政が一緒に取り組めることなどへの意見をいただきました。



写真：市民へのグループインタビューの様子

参加者からの主な意見

非認知能力を伸ばすためには体験活動が大切。外に出て様々な活動をすることで、探求心も向上する。その際、移動を伴うので、市民の足となる**交通政策**もあわせて検討できるとよい。

交流人口を増やす取り組みが必要。イベントをするには場所が必要になるので、**道の駅**がそういう場になるとよい。

アクティブ・シニアの応援は、活躍を応援する点で様々な可能性があり、すでにそうした活動がある。ドリームプレイウッズでは、年配の方々が作り上げ、運営をしている。こうした場所が増えるとよい。

子どもと大人の関わりが少ない。発表や、活動を通じて地域の大人との関わりを増やしていければよい。

工場ツアーを実施している。観光客にとっては非日常であり、大好評である。**綾瀬の観光**は、非日常をいかに探せるかという視点が大事。

元気な高齢者に子どもをみてもらうと、私たち子育て世代も地域活動ができる。休耕地を見ていて活用されないのがもったいないと感じるので、**農作業などを手伝いたい**と思っている。

自治会への若い世代の参加について、年配の方から参加を促されるより、若者が若者に伝える形で広がっていく方が参加しやすい。

外国人を孤立させないように、地域社会に馴染めるような支援が必要。まずは、スポーツや音楽、食を通じてお互いの関係性を築くことが大切。

綾瀬市は横浜からも近く、自然も多くある。**自然の中でキャンプやBBQができる場**があると大学生などの若者も訪れるのではないかな。

高齢者はどんどん増えるので対策が必要だし、これからの未来を担っていくための子ども、子育てへの取り組みも重要。それらの**基本になるのもやはりコミュニティ**だと思う。

観光は、個々の魅力をつなげ、**農業、商業、工業が連携した体験型の取り組み等**を実施すれば、人を集め、お金を落としてもらえと思う。

今後も、市民の皆さんの声を聞きながら、計画づくりを進めていきます！



◆発行（問い合わせ先）：綾瀬市 経営企画部 企画課 政策経営担当
〒252-1192 神奈川県綾瀬市早川 550 番地
電話番号：0467-70-5635 FAX：0467-70-5701
E-mail：wm.705635@city.ayase.kanagawa.jp



魅力的で持続可能なまちを目指し、次期総合計画の形が見えてきました

次期総合計画の骨格を検討

本市では、令和3年度を初年度とする『次期総合計画』の策定に向けて検討を進めています。

次期総合計画策定にあたっては、総合計画審議会やまちづくりカフェなど、昨年度から市民の皆さんをはじめ、本市に関わりのある方々の御協力も得ながら検討を進めています。

今回は、これまでの次期総合計画の検討内容と、市民参加の取り組みについて紹介します。



写真：市民へのグループインタビューの様子

表：次期総合計画策定に向けた市民との主な取り組み

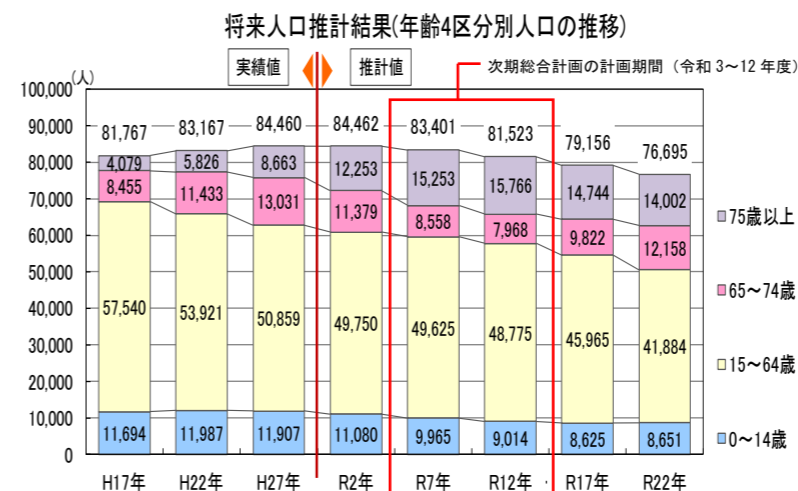
日程	内容
平成30年9月～10月	・綾瀬市次期総合計画策定に関する市民アンケート調査
平成30年11月～31年1月	・綾瀬市まちづくりカフェ（市民ワークショップ）
平成31年2月	・第1回綾瀬市総合計画審議会
令和元年5月	・第2回綾瀬市総合計画審議会
令和元年7月	・第3回綾瀬市総合計画審議会
令和元年8月	・市民グループインタビュー
令和元年10月	・市民グループインタビュー ・第4回綾瀬市総合計画審議会

次期総合計画で目指すこと

今後、本市では、令和2年度の84,462人をピークに人口は減少に転じ、少子高齢化が進むことが見込まれています。それに伴い、税収も減少し、財政状況も厳しい状況が続くことが予測されます。

このままいくと、産業の衰退、後期高齢者の急増に伴う高齢者の単独世帯の増加、空き家の増加、学校のクラス数の減少、公共施設などのインフラの老朽化など、各地域で様々な問題が発生し、まち全体の活力が衰退していくことも危惧されます。

次期総合計画では、こうした状況にならないように、本市の魅力を育み、地域の活性化を促進して、次世代に引き継げるまちづくりを進めていくための計画としなければなりません。

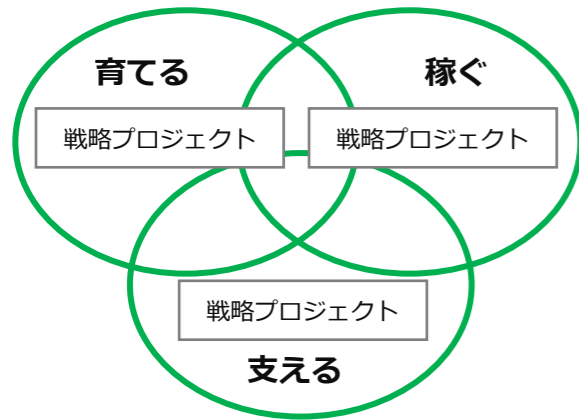


出典：国勢調査に基づき市で推計

次期総合計画の柱となる 「戦略プロジェクト」を検討しています

次期総合計画では、本市の持続可能性向上のために、今後10年間で特に力を入れて実現させていく取り組みを「戦略プロジェクト」として位置づけることを検討しており、15の戦略プロジェクトを展開していく予定です。

戦略プロジェクトは、「育てる」「稼ぐ」「支える」という3つの視点（基本方針）に基づき、計画を実現していきます。



育てる	次世代の綾瀬を育てる視点でのまちづくり 文化財、公園などの地域資源の有効活用/ 魅力向上や市民活動の活性化/ 地域の担い手づくり など
稼ぐ	積極的な「稼ぐ」視点での地域経済の活性化 農・商・工の産業の振興/交流人口増/ 市の認知度の向上に資する取り組みの促進 など
支える	安全で安心な暮らしを支える基盤の向上 支え合いによる大規模災害への備えの充実/ 移動手段の充実/将来を見据えた公共施設 の整備・活用 など

※3つの視点や各戦略プロジェクトの取り組み内容、期待される効果は、明確に区分するものではなく、図のように重なり合い、相互に効果を発揮します。

戦略プロジェクトは本市の新たな未来を切り開いていく、次期総合計画の重要な柱です。戦略プロジェクトを実現させていくためには、行政だけでなく、市民や事業者など、本市に関わる皆さんで取り組んでいく必要があると考えています。

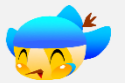
行政だけではなく、みんなで取り組む計画なんだね。



戦略プロジェクトの方向性〈基本方針：育てる〉

- ◆ **笑顔あふれる親子が育つまちづくり**
「生きる力」の向上を目的とした非認知能力の向上と、地域の子育てネットワークを活かした子育てに温かいまちづくりを進めます。
- ◆ **外国人市民が活躍する多文化共生のまちづくり**
綾瀬市は外国籍の方が多いのが特徴です。皆が住みやすく、活躍しやすいまちづくりを進めます。
- ◆ **未来を支える地域コミュニティの仕組みづくり**
これからの綾瀬を支える、市民・地域の活動支援と、コミュニティ形成の仕組みづくりを進めます。
- ◆ **特色ある公園整備と活用の仕組みづくり**
特色を生かした整備で、市の内外から人を引き寄せる、魅力的な公園づくりを進めます。
- ◆ **目久尻川の歴史文化形成と魅力の向上**
目久尻川流域の歴史・文化の掘り起こしと地域による魅力向上を図ります。

戦略プロジェクトの方向性〈基本方針：稼ぐ〉



- ◆ **道の駅を拠点とした地域活性化**
道の駅をこれからの本市の地域振興の核となる拠点として活用し、綾瀬市を盛り上げます。
- ◆ **あやせ工場による工業振興**
綾瀬市には高い技術と多くの企業が集まっています。積極的な事業展開をしていく市内企業を支援します。
- ◆ **あやせ農場による農業振興**
非常に品質が高い綾瀬の野菜の普及促進を図るとともに、農業で地域を盛り上げます。
- ◆ **「ロケのまちあやせ」ならではの観光振興**
綾瀬といえばロケのまち！観光や地域資源との組み合わせで綾瀬の魅力を高めます。
- ◆ **中心市街地魅力アップに向けたリニューアル**
民と行政が連携する中心市街地へのリニューアルで、便利で明るい、人の集まるまちづくりを進めます。

戦略プロジェクトの方向性〈基本方針：支える〉



- ◆ **アクティブ・シニアの応援**
様々な場所、様々な方法で活躍する、元気な高齢者の活動を支援します。
- ◆ **健康的な食習慣・行動習慣の推進**
健康的な食習慣や行動習慣で、生活習慣病にかからない、元気で活発なまちづくりを進めます。
- ◆ **大規模自然災害への備えの向上**
大地震や自然災害が起きても、地域の支え合いにより安心して暮らせるまちづくりを進めます。
- ◆ **移動利便性の高いまちづくり**
公共交通の強化と地域の支え合いの移動支援で、不便なまちと呼ばせない移動利便性の高いまちづくりを進めます。
- ◆ **次世代につなげる公共施設の整備・活用**
将来を見据えた、効率的で使いやすい公共施設の整備・有効活用を進めます。

総合計画審議会が本格稼働

本年11月までに4回の審議会を開催し、本市の将来人口推計や各地域などの状況確認のほか、計画の全体構成案や10年後の都市像、計画の具体的な内容（戦略プロジェクト）、計画を実現するための具体的な方策などについて、各委員からは多様な意見が出され、活発な議論を展開しています。（総合計画審議会の内容は市のホームページに公開しています）

令和2年4月には、とりまとめた計画案に対して、広く市民の皆さんの意見を募集するパブリックコメントを実施する予定です。市のホームページでも公表しますので、是非、御覧いただき、御意見をお聞かせください。



写真：総合計画審議会の様子



写真：諮問書を渡す様子
(市長から会長へ)